

社団法人 溶接学会の概要

(平成13年2月現在)

名 称	和 文	社団法人 溶接学会 (ようせつがっかい)
	英 文	Japan Welding Society (略称JWS)
所 在 地		〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1丁目11番地産報佐久間ビル5F 電話 03-3253-0488 FAX 03-3253-3059 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/index.html
主務官庁		文部科学省
目 的		溶接・接合に関する研究の連絡を行い、学術、技術の向上普及をはかり、もって文化の発展に寄与する。(定款第2条)
沿 革		大正15年5月29日 電気溶接協会として発足 昭和2年3月26日 溶接協会と改称 昭和11年3月17日 法人認可社団法人溶接協会(大專第136号) 昭和18年8月6日 社団法人溶接学会と改称 昭和35年9月26日 社団法人溶接学会と改称
構 成	会 員	正員 3,590 賛助員 1,220口(494社) 学生員 203 団体員 76
	役 員	理事 20(会長1,副会長2を含む),監事2,評議員 150
会 議		理事会:年度内6回以上 評議員会:年度内1回以上 総会:年度内1回以上
委 員 会		全国大会運営委員会 科学研究費委員会 論文査読・審査委員会 溶接教育委員会 編集委員会 溶接用語委員会 国際交流委員会 文献資料委員会 財務強化委員会
定期刊行物	機関誌	溶接学会誌:年8回A4判 溶接学会論文集:年4回A4判
	定 期 刊 行 物	全国大会講演概要: 春季,秋季2回B5判
	その他の定期刊行物	溶接・接合便覧,溶接学会用語辞典, 溶接用語集(日英対象), 溶接・接合用語事典, 溶接学会技術資料(シリーズ), 溶接技術の基礎,溶接・接合工学の基礎, 溶接・接合技術,溶接・接合概論
講 演 会		定期大会:春秋2回全国大会を開催(特別講演,一般講演,シンポジウム,フォーラム,オガナイトセッション,技術セッション,ワークショップ,カタログ展示,見学会) その他の定期講演会:懇談会,見学会など全国各地で隨時開催
	講 習 会	定期:1.溶接工学夏季大学(毎年7~8月,大阪) 1.溶接技術基礎講座(毎年6~7月,東京) 3.工業高校教員のための溶接工学夏季講座(毎年7~8月,大阪) 基礎コース「溶接工学を学ぼう」(毎年秋東京) 不定期:時宜に応じ隨時開催する。

調査研究	本会には下記の委員会が設置運営されており、溶接の各専門分野における問題について時宜に応じた調査研究を行っている。 1. 溶接構造研究委員会 2. 溶接アーク物理研究委員会 3. 溶接法研究委員会 4. 溶接冶金研究委員会 5. 溶接疲労強度研究委員会 6. 高エネルギービーム加工研究委員会 7. 軽構造接合加工研究委員会 8. マイクロ接合研究委員会 9. 界面接合研究委員会 特定課題研究として設置された時限的な特別研究会 1. 「マイクロエレクトロニクスにおける超微細接合」 2. 「車体の軽量化」 3. 「極限材料の構造化」 4. 「生産加工システムの最適化」 アドホック研究会 1. 「固体間凝着現象」 2. 「ベース推定とニューラルネットワークの組み合わせによる溶接部の特性評価」 3. 「設計・生産システムにおける溶接・接合情報の生成・利用手法に関する基礎研究」 4. 「ダメージメカニクスによる溶接継手の破壊解析」
表 彰	本会には下記の賞が設けられ功績の表彰,学術技術の奨励を行っている。 溶接学会賞 溶接学会功績賞 溶接学会貢献賞 溶接学会業績賞 佐々木賞 溶接学会論文賞 溶接学会論文奨励賞 田中亜久人賞 溶接学会研究発表賞 溶接学会シンポジウム賞 溶接学会奨学賞 溶接学術振興賞 溶接技術奨励賞 溶接技術普及賞
国際交流	1. 国際溶接学会(IIW)の我が国加盟団体の代表として論文提出,代表派遣及び同学会の調査研究事業に参加 2. 国際シンポジウムの開催 2~3年毎に特定のテーマについて開催する。 3. スタディーグループの交換 各国との間に調査,研究を目的としたグループの派遣また各国から同様グループの受け入れを通じて情報の交換,経験の交流を促進する。 4. 各国学協会と機関紙の交換を行っている。(59誌)
その他の活動	1. 支部活動を通じて溶接に関する普及啓蒙活動を行っている。 支部:北海道,東北,東部,北陸,東海,関西,中国,四国,九州 2. 日本溶接会議(JIW)の活動を援助 3. 日本学術会議の活動を支援 4. その他 政府機関の諮問並びに調査等に対する協力及び関連学協会と協力して工学研究に関する事業に参加する。